

令和 2 年 5 月 28 日現在

機関番号：18001  
 研究種目：基盤研究(C) (一般)  
 研究期間：2016～2019  
 課題番号：16K02496  
 研究課題名(和文) パートルビーたち：「オフィス・フィクション」の諸相

研究課題名(英文) Bartleby: Aspects of Office Fiction

## 研究代表者

小林 正臣 (Kobayashi, Masaomi)

琉球大学・教育学部・准教授

研究者番号：30404552

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,600,000円

研究成果の概要(和文)：これまで注目されることが少なかったオフィスワーカーが登場する作品群を再発見することで、主としてアメリカ文学における新たな文脈を開拓することができた。特に性差を超えて作家および登場人物に着目することで、幅広いパートルビーたちを論じることが可能となった。

また、オフィス・フィクションを単なるジャンル小説として捉えるのではなく、他のジャンルと接続可能な領域と捉えなおすことで、横断的な研究を行えることができた。具体的には、ローレン・ワイズバーガー『プラダを着た悪魔』などを代表とするチック・リットや、フランツ・カフカの『変身』などの海外文学との接点が見出された。

## 研究成果の学術的意義や社会的意義

小説という近代の産物においては、往々にして「働くこと」より「生きること」の方が重要視される。このことは、いわゆるホワイトカラーをめぐる小説において顕著である。それゆえ会社員、公務員、事務員といった職種をめぐるオフィス・フィクションは、開拓する余地を十分に残している。特に本研究で追求したのは、オフィスという空間が拡張的であるということである。すなわち、オフィス・フィクションにおけるオフィスの内外は、仕事と生活という二分法に基づくワーク・ライフ・バランスを超越する一つの世界として提示されている。この世界観は、現実世界におけるオフィスの様相を考察する際の一つの重要な手がかりとなるだろう。

研究成果の概要(英文)：This project has made several discoveries of office fiction that has drawn insufficient attention in American literary studies, by investigating underexplored contexts. Foremost among those discoveries is about a variety of office fiction writers and their main characters--female as well as male ones.

The project has revealed that office fiction is not simply a genre fiction, but rather it is certainly overlapped with other genres of fiction. Indeed, it demonstrates Bartleby's are discoverable and discussable in close relation to such chick-lit novels as Lauren Weisburger's *The Devil Wears Prada* and to such transatlantic classics as Franz Kafka's *The Metamorphosis*.

研究分野：アメリカ文学

キーワード：パートルビー オフィス・フィクション ホワイトカラー ワーク・ライフ・バランス

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

## 1. 研究開始当初の背景

「書写人バートルビー」が再発見されたのは、いわゆるメルヴィル・リヴァイバルが起こった1910年代後半から1920年代である。以後、本作の研究は学際的に活発に行われ、特に文学者と哲学者が多様な解釈を試みてきた結果、「バートルビー産業」(the Bartleby Industry)と呼ばれるほどに一大産業の様相を呈している。しかしその一方で、タイトル人物の言動に関心が集中するあまり、この人物の末裔をめぐる議論はほぼ皆無であった。

## 2. 研究の目的

研究の目的は、アメリカ文学において未開拓の研究領域である「オフィス・フィクション」すなわちオフィス・ワーカーをめぐる文学を構築することである。

ブルーカラーを描いた作品研究は多いが、ホワイトカラーに注目した研究は少なく、体系化もされていない。そこでホワイトカラーを具現しているオフィス・ワーカーに着目し、その元型をハーマン・メルヴィル「書写人バートルビー」におけるタイトル人物に見出す。この人物が以後の作品においてどのようにバートルビーたちとして再創造されてきたのかを探究し、そこに現れた諸相に基づいて体系化を行う。よって本研究は、さまざまなバートルビーの末裔を再発見することで新たな文脈を切り拓き、既存のバートルビー像に依存しない研究領域を開拓する。

## 3. 研究の方法

以下の方法で、上記の目的を具現化する。

- 1) これまで文学研究において軽視されてきたオフィス・ワーカーに注目することで、「オフィス・フィクション」という新たな研究領域を築くこと。
- 2) バートルビーを従来のように抵抗の象徴や書けなくなった作家の比喻と見なすのではなく、オフィス・ワーカーとすることでバートルビーたちに焦点を向けること。
- 3) バートルビーたちを単一の文脈ではなく、多様な文脈のなかで横断的に捉えることで、「オフィス・フィクション」をいわゆるジャンル小説を超えるものとして捉えること。

## 4. 研究成果

全期間における主たる研究成果は、以下のとおりである。

### 1. オフィス・ワーカーの再発見

これまで注目されることが少なかったオフィス・ワーカーが登場する作品群を再発見することで、主としてアメリカ文学における新たな文脈を開拓することができた。特に性差を超えて作家および登場人物に着目することで、幅広いバートルビーたちを論じることが可能となった。

近年におけるアメリカおよび日本などの国内外における女性作家の活躍はめざましいことから、性差をめぐるオフィス・フィクションは今後さらに登場することが予想される。じつと、現時点でもその兆しは十分に表れており、ヘレン・デウィットの第一長篇 *The Last Samurai* および第二長篇 *Lightning Rods* や、ヘレン・フィリップスの第一長篇 *The Beautiful Bureaucrat* などは、まさにその好例といえる。

今後は、これまで以上に女性作家によるオフィス・フィクションを意識的かつ積極的に研究対象として組み込むことで、研究のさらなる展開が期待できる。

### 2. ジャンル・フィクションとしての可能性

オフィス・フィクションを単なるジャンル小説として捉えるのではなく、他のジャンルと接続可能な領域と捉えなおすことで、横断的な研究を行えることができた。例えば、古くはエドガー・アラン・ポー「群衆の人」「盗まれた手紙」などに始まる探偵小説、新しくはローレン・ワイズバーガー『ブラダを着た悪魔』などを代表とするチック・リット、フランツ・カフカ『変身』などによるゴシック小説、さらには庄野潤三「プールサイド小景」などの純文学との間テクスト性を発見できたことは大きい。

このように、オフィス・フィクションを基軸としてアメリカ国内外の文学を広角的に捉えることで、研究の発展性は飛躍的に高まるだろう。

### 3. 視覚芸術としてのオフィス・フィクション

最後に、文学研究の延長として、他の芸術分野との関連性も発見できた。例えば、エドワード・ホッパーの絵画 *Office at Night* や *Office in a Small City* や *New York Office* は、今回のオフィス・フィクション研究で獲得した視点と手法を援用しながら論じることが可能である。すなわち、まさに“Every picture tells a story”という格言を実践することが可能となる。

以上のアプローチは、研究成果として具体化するには至っていない。オフィス・フィクション研究の裾野を拡大するためにも今後の実現が望まれる。

以上の研究成果として、国内外の学術誌等に論文を発表した（詳細は、次項「主な発表論文等」を参照）。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 Masaomi Kobayashi	4. 巻 4
2. 論文標題 Bartlebys: Gothicizing Office Ficttion	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Palgrave Communications	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1057/s41599-018-0186-5">https://doi.org/10.1057/s41599-018-0186-5</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Masaomi Kobayashi	4. 巻 11
2. 論文標題 What is the Man of the Crowd? His Prefiguration	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Kyushu Studies in English Literature: Regional Combined Issues	6. 最初と最後の頁 323-331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.20759/eljsjregional.11.0_323">https://doi.org/10.20759/eljsjregional.11.0_323</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Masaomi Kobayashi	4. 巻 27
2. 論文標題 The Universe of the Office: Fight Club and Bartlebys	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scripsimus	6. 最初と最後の頁 49-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43070">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43070</a>	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Masaomi Kobayashi	4. 巻 32
2. 論文標題 On Working and Writing: Charles Bukowski in Transition	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Southern Review	6. 最初と最後の頁 53 - 67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masaomi Kobayashi	4. 巻 14
2. 論文標題 Bartlebys Diversified: Miss Lonelyhearts and Office Fiction	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 The Journal of the American Literature Society of Japan	6. 最初と最後の頁 39-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.20687/englishalsj.2015.14_39">https://doi.org/10.20687/englishalsj.2015.14_39</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----